学校だより 第442号 令和６年 3月号－2

牧小だより

子供のよさを見つけ、引き出し、つないで拓く

↑行事写真を
ご覧いただけます

■10名の卒業生の門出にエールを贈ります。
1年生、2年生、3年生、4年生、5年生の進級にエールを贈ります。

卒業生が牧小学校を巣立っていきました。

１０名の子供たちは、中学校生活や未来に希望をもって、晴れ晴れとした表情で卒業までの時間を過ごしていました。卒業生のこれからに幸多いことを心より願います。

これに先立ち、３月１日には「６年生を送る会」で卒業生への感謝を伝える時間をもちました。低学年、中学年は、卒業生への感謝を伝えるために、考え、練習し、伝えました。５年生は、計画・運営を担い、忙しく走り回って司会者をサポートし、全員で心尽くしの時間を創りました。６年生は、牧小学校の仲間たちのあたたかい気持ちに包まれながら、各学年にメッセージを送り、牧小学校を５年生に引継ぎました。

また、今日は、１年生、２年生、３年生、４年生、５年生に対し全課程の修了を認めました。４月からは、新１年生を迎え、進級学年でさらに自分の良さを伸長してくれることを楽しみにします。

■地域の皆様、1年間、学校を見守っていただきありがとうございました。

今年度は創立１５０周年の年でした。５月には、岡田町長様をはじめ多くの皆様に来校いただき、子供たちの記憶に残る記念行事を行うことができました。また、地域の皆様、保護者の皆様のおかげで、子供たちは多くの体験をすることができました。あちらこちらで登下校を見守っていただき、安全に登校して学校生活を送ることができました。また、４月の頃を振り返って比べると、どの子供もたくましくなっていると感じます。様々なことに出会い葛藤しながらも、家族と地域のみなさんの見守りに包まれて乗り越えながら身に付けてきたたくましさだと思います。感謝を申し上げ、６年度も見守っていただきますようお願いいたします。

■だいすきな牧小学校、ありがとう、さようなら。

毎年、年度またぎの時期の光景があります。親御さんに付き添われておぼつかない足取りで集団登校する１年生や中学校の制服を着て登校していく卒業生の姿を見ながら通勤する４月、一人で足取りも軽く歩む姿を見る３月を過ごしながら、毎年、１年間を区切ってきました。今年度も、また区切る時期です。

定期の異動の時期となり、今年度末も数名の転退職があります。お世話になりました。また、わたくしごとですが、本年度で退職をいたします。牧小学校に３度勤務し、１１年の間には未熟ゆえに大変多くの方にお世話になり、励ましていただきました。今年の区切りの３月は、かわいいかわいい子供たちと、共に子供たちを愛してきた頼もしい同僚に手を振って教職を退きます。

大変お世話になりました、ありがとうございました。

校長　古市　諭香